

原発と軍事

「平和利用」されていた福島第一原発の事故は、膨大な放射能を大気に、海に、大地にまき散らしました。住民に甚大な被害をもたらしています。ひとびとの基本的人権を奪っています。

原発は、放射能を作り続けます。燃やし終わった燃料を再処理すれば、原爆の材料となるプルトニウムの生産も可能といわれています。「原子力の平和利用」のもと、何が進められているのでしょうか。

事故を起こしたらとりかえしのつかない事態をもたらす原発、核兵器の原料を製造する原発、そんな原発を全て廃炉にすることを、一緒に考えてみませんか。

たくさんの皆様のご来場をお待ちしております。



《講師 プロフィール》

「劣化ウラン研究会」代表、原子力と環境問題に取り組む「たんぼぼ舎」副代表。

1980年代より、核兵器と原子力開発に反対する運動に参加。

原子炉の構造などの科学的な分野から、原子力発電の歴史、原子力発電に関する裁判、内部被ばく、除染、瓦礫問題など、幅広く知識をお持ちの方です。

著書：『放射能兵器・劣化ウラン』（技術と人間）、『原発事故から身を守る』（第一書林）、『原発の地震防災はどうなっているか』（たんぼぼ舎パンフレット）『世界は変えられるⅠ・Ⅱ』『冬の兵士』岩波書店。
最新著書：『福島原発多重人災 東電の責任を問う 被害者の救済は汚染者負担の原則で』榎田 敦 **山崎久隆** 原田裕史 日本評論社、『『核時代の神話と虚像』原子力の平和利用と軍事利用をめぐる戦後史』第10章＝劣化ウランの兵器転用がもたらすものを執筆 など

日 時： **6月26日** (日) 13:30 開場 費用：資料代 300 円
14:00～16:00

会 場： **牛久市中央生涯学習センター 大講座室**

主 催： 原発いらない牛久の会
賛 同： 環境学習同好会・常総生活協同組合
脱原発ネットワーク茨城
連 絡 先： 森川 080-3953-4653
藤田 080-5193-5218

